

平成27年度 第1回大阪府立布施高等学校 学校協議会 概要

日時：平成27年6月25日（木）16:00～17:30

場所：布施高校 校長室

全体の司会・進行…教頭

<16:00～16:20>

- 1、挨拶 【校長】
- 2、会長挨拶 【会長】
- 3、学校協議会委員・事務局員紹介 【教頭】

<16:20～16:30>

- 4、学校経営計画（報告） 【校長】

<16:20～16:30>

- 5、取組みの進捗状況（報告）
 - (1) 進路指導部（H26年度卒業生進路状況） 【進路指導部長】
 - (2) 生徒指導部（遅刻指導、服装・頭髪指導） 【生徒指導部長】
 - (3) 学力向上係（小テスト、講習会、8時間耐久勉強会） 【学力向上係長】

<16:50～17:50>

- 6、学校改善に向けて（協議） 【会長】

<提言内容等>（○は提言 →印は学校側の回答等）

- 8時間耐久勉強会は、効果の見極めが大切。この勉強会が成績の伸びにつながることを生徒に実感できるようにする。参加者の事前と事後の模試の結果を比べてみる。
- 遅刻と成績の相関関係を、一人ひとりの生徒について Data を検証していく。
- 遅刻について、減少している学校では教室に入るとき、生徒指導の先生のところに行き入室カード等をもらわないと入室できない方法をとっているところもある。
- センター入試については、全体の受験者数だけでなく5教科7科目で何人受験しているかが重要である。
→6月の模試は、昨年に比べて成績は良くなっているが、5教科7科目受験者数が少ない。
- センター入試は、高校の通常授業のレベルである。
- 生徒の学力が伸びてきていることを、教員側も認識し、生徒の可能性を信じて、叱咤激励していく。
- 国語力が伸びないのは、本を読まなくなったことも原因の1つ。それに伴い、コミュニケーション能力も低下している。特に、携帯端末の利用率と比例し言葉の数が減ってきており、本を読まない、考えない生徒が増えている。
- 携帯端末を利用して、授業をするという逆転の発想も検討の余地がある。
- ネット情報を利用することにより、クリエイティブでなくなる。今、話している内容の何割が自分から発信している内容なのかを考えてみることも大切である。

